

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																											
ES13D005		学校実践実地研究 (Educational Field Practice and Research)					実習科目 教職実践コース																											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																												
必修	3	1	大学院教育学 研究科	後期		氏名 全教員 E-mail 内線																												
授業の概要	・学校実践実地研究 で明らかにされた教育実践研究の課題(テーマ)について、実践分析等を通じて考察を深め、課題解決にむけた具体的な方策を構想することを目的とする。																																	
具体的な到達目標											DP等の対応(別表参照)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
目標1 設定した教育実践研究の課題(テーマ)から、実習校の教育活動を観察・分析する視点を導出することができる。 実習校の																																		
目標2 設定した視点を踏まえて実習校の教育活動を観察し、分析・考察することができる。																																		
目標3 実習校の教育活動の分析・考察を通して、教育実践研究の課題(テーマ)を分析し考察を深めることができる。																																		
目標4 課題解決にむけた具体的な方策を構想することができる。																																		
目標5																																		
目標6																																		
目標7																																		
目標8																																		
目標9																																		
目標10																																		
授業の内容																																		
1 事前指導																																		
2 第1週(5日間)																																		
3 第2週(5日間)																																		
4 第3週(5日間)																																		
5 事後指導																																		
6																																		
7																																		
8																																		
9																																		
10																																		
11																																		
12																																		
13																																		
14																																		
15																																		
ラーニング	A:知識の定着・確認								工夫		その		他の																					
ア	B:意見の表現・交換																																	
ク	C:応用志向																																	
ニ	D:知識の活用・創造																																	
テ																																		
ン																																		
イ																																		
グ																																		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修																																	
	事後学修																																	
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																																	
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10																						
	実習校における観察・体験への積極的参加度	80%																																
	実習日誌や観察記録等の資料作成	20%																																
注意事項																																		
備考	・実地研究 の振り返りは、「教育実践研究」においてさらに省察を深め、各自の教育実践研究の課題(テーマ)の考案・確定につなげていく。																																	
リンク																																		
	URL																																	

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	古庄一夫（公立特別支援学校教員）、牧英治郎（公立小学校教員）、立川研一（公立中学校教員）

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																							
ES13D005		学校実践実地研究 (Educational Field Practice and Research)					実習科目																							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																								
必修	3	1	大学院教育学 研究科	後期		氏名 全教員																								
						E-mail 内線																								
授業の概要	・学校実践実地研究 で明らかにされた教育実践研究の課題(テーマ)について、実践分析等を通じて考察を深め、課題解決にむけた具体的な方策を構想することを目的とする。																													
具体的な到達目標											DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
目標1 設定した教育実践研究の課題(テーマ)から、実習校の教育活動を観察・分析する視点を導出することができる。 実習校の																														
目標2 設定した視点を踏まえて実習校の教育活動を観察し、分析・考察することができる。																														
目標3 実習校の教育活動の分析・考察を通して、教育実践研究の課題(テーマ)を分析し考察を深めることができる。																														
目標4 課題解決にむけた具体的な方策を構想することができる。																														
目標5																														
目標6																														
目標7																														
目標8																														
目標9																														
目標10																														
授業の内容																														
1 事前指導																														
2 第1週(5日間)																														
3 第2週(5日間)																														
4 第3週(5日間)																														
5 事後指導																														
6																														
7																														
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														
ラーニング ポイント ニ ン イ グ	A:知識の定着・確認										工 夫 そ の 他 の																			
	B:意見の表現・交換																													
	C:応用志向																													
	D:知識の活用・創造																													
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修																													
	事後 学修																													
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																													
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																													
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10																		
	実習校における観察・体験への積極的参加度	80%																												
	実習日誌や観察記録等の資料作成	20%																												
注意事項																														
備考	・実地研究 の振り返りは、「教育実践研究」においてさらに省察を深め、各自の教育実践研究の課題(テーマ)の考案・確定につなげていく。																													
リンク																														
	URL																													

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	古庄一夫（公立特別支援学校教員）、牧英治郎（公立小学校教員）、立川研一（公立中学校教員）